

**令和3年度 第2回 中央林間駅まち会議（大和市地域公共交通協議会分科会）会議録（要約）**  
**（案）**

---

日 時：令和4年3月24日(木) 10:00～10:45

場 所：大和市生涯学習センター610 会議室

出席者：別紙1のとおり

＊全ての委員（代理人含む）の出席があり、会議は成立と認める（大和市地域公共交通協議会分科会設置規程第5条第2項）。

報告事項

（1）小田急中央林間駅総合改善事業について

- ・令和3年度工事完了実績
- ・令和4年度工事予定
- ・小田急中央林間駅整備計画の変更に向けた検討
- ・小田急中央林間駅東口改札口利用状況

---

質疑及び回答

○別紙2のとおり

---

別紙1（出席者）

	所 属	委員	備考
委 員 (会長)	大和市街づくり総務課長	石井 信治	
委 員	小田急電鉄株式会社 工務部 課長	鈴木 武幸	(随行) 工務技術センター 技士長 平川 哲也
委 員	東急電鉄株式会社 経営戦略部 総括課長	五島 雄一郎	【代理】事業戦略部 総括課 課長補佐 水鳥 浩靖
委 員	国土交通省 関東運輸局 鉄道部 計画課長	板橋 孝則	
委 員	神奈川県警察大和警察署 交通第一課長	佐々木 剛	
委 員	大和市道路安全対策課長	安見 昌幸	【代理】 道路安全対策課道路整備係 係長 横溝 正人

別紙2（質疑及び回答）

（1）小田急中央林間駅総合改善事業について ・令和3年度工事完了実績 ・令和4年度工事予定	
確認・質問事項	回答（事業者・事務局）
令和3年度工事と令和4年度工事とで図面上ホーム補強幅が異なっているが、どういった理由か。	ホーム補強と段差の解消工事を合わせて行い、高さの摺り付けなども行う予定となっており、便宜上、そのような図示をしているが、令和3年度はホーム全体、令和4年度が一部を工事するわけではない。  ホームの構造が藤沢方と相模大野方と異なっており、藤沢方は盛土ホーム、相模大野は桁式となっており、桁式部分についてはパネルで補強をしている。
（1）小田急中央林間駅総合改善事業について ・小田急中央林間駅整備計画の変更に向けた検討	
上りホームは階段移設がなくなった場合にはホームの拡幅もなくなることとなるが、そのような計画とする場合には、東口の利用状況や今後の乗降客の動向等を見据えて検討を行ってみたいかどうか。	ホーム拡幅部に既存のエレベーターがあり、工事を実施する場合には仮設エレベーターを設ける必要があるが、仮設エレベーターの設置が困難な状況である。仮設エレベーターが設置できないとなると、エレベーターが利用できない期間が2年近くできてしまい、利用者に対し不便を強いる状態となる。計画策定時から利用客が大幅に減少しているなどの状況も踏まえ、計画の見直しの妥当性が示せるよう、検討を行っていく。
（1）小田急中央林間駅総合改善事業について ・小田急中央林間駅東口改札口利用状況	
東口の開設以後、南口、北口の利用の割合が低下しており、東口開設の一定の効果があつたと考えられる。今後の工事の進捗などによりさらに利用活用が促進される可能性もあり、引き続き、動向を見据えていけばよいのでは。	南口の混雑を避けての東急中央林間駅への乗り換えや北口から東口へ移動は高低差がなく利用できるなど東口改札の効果はあつたと考えている。引き続き、動向に注視しながら、多くの利用者に認知してもらえるよう努めていく。